



愛南のうまいもんで

おもてななし



「かき食べ放題コーナー」では先着の300名が、かきの炭火焼きや酒蒸しを堪能しました(写真上)。また、かき汁1,000食以上が無料で提供されました(写真左)。

当日は、焼きかき独特の潮の香りがする中、恒例の「餅まき」(午前、午後各1回)をはじめ、「かき数当てウルトラクイズ」や「かきすくい取り」が行われました。このほか、愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」風船の無料配布や「なーしくん」オリジナル缶バッジの作成コーナーもあり、「なーしくん」との記念撮影は、長蛇の列ができるほど好評でした。



かきすくい取り

春を思わず好天の中、南レクロジ前広場で愛南町の冬の地場産品をPRする「うまいもん市inあいなん2014」が開催されました。会場には、本町の冬の味覚を代表するかきを始め、愛南の海や山の「うまいもん」を食べようと、県内外から1万5千人を超える来場者が訪れました。



恒例の餅まき



かき数当てウルトラクイズ



大人気の「なーしくん」



愛南のかきが養殖される御荘湾には、二級河川僧都川の河口付近に広がる広大な落葉樹林の豊富な栄養分が流れ込みます。
豊富なプランクトンと温暖な気候により、愛南のかきは、肉厚で潮の香りが濃く、絶品と評判です。



「会場の雰囲気とかきなど愛南の食べ物のおいしさを満喫しています」と今治市からお越しの菊川晴子さん。「食いしん坊みたい」と、食べ終わったかきの殻を山積みにして満足そうに話してくれました。



松山市からお越しの福田政道さん一家。「愛南のかきは、一つ一つの身が大きくて味が濃厚。スーパーでかきを買うときは、必ず愛南のかきを買う」そうです。



「愛南のかきは、臭みがないので大好き。特に、かきフライのおいしさには感動しました」と竹内清香さん(松山市)。実は、地元ではかきをあまり食べないそうですが、愛南のかきフライをパクリ。おいしく食べられるようで、ぶりぶりのかきフライをパクリ。



山岡慎次さん、忍さんご夫妻(砥部町)は、「このイベントを毎年楽しみにしている。ほかの産地のかきが食べられないくらい愛南のかきはおいしい」と、来年の「うまいもん市」への参加を約束してくれました。

愛南町には、春夏秋冬、海の幸や山の幸の「うまいもん」が
いっぱいやなぐし。

会場では、かきのほか、ヒオウギ貝の浜焼き、「久良のブリ」やマグロの刺身、新鮮な野菜、かんきつ類や郷土料理などが販売され、愛南の「うまいもん」を買い求めようと、あちこちに長蛇の列ができました。

